

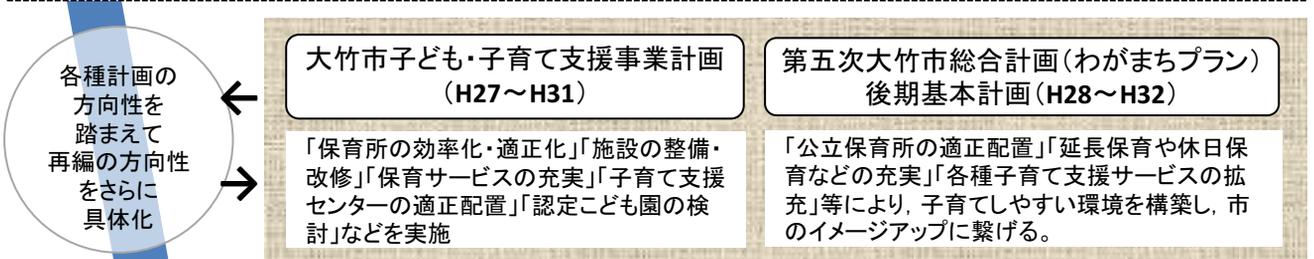
大竹市公立保育所等再編基本方針(素案)の概要

★「公立保育所等の今後のあり方」(平成27年5月)

それまでの民営化・統廃合方針を変更し、公立保育所を一定数維持しつつ保育所・子育て関連施設を再編。

【再編に向けた3つの方向性】

- ①施設の効率化
- ②施設の改善・多機能化
- ③周辺環境への配慮



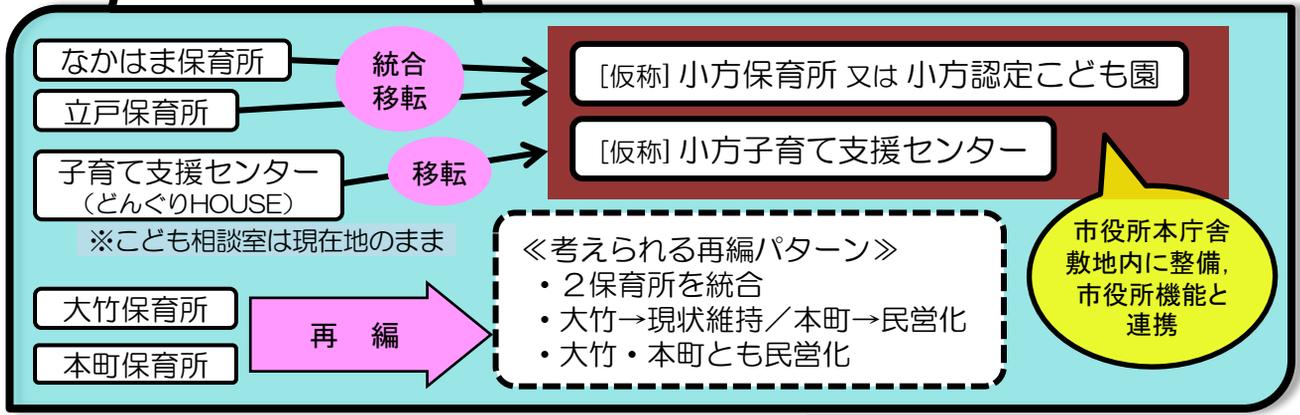
●再編で実現すべきこと●

- 効率的・適正な保育所運営
- 安全・快適な保育環境の整備・改修
- 保護者ニーズに合う保育サービスの充実
- 子育て支援センターの適正な規模・配置の検討
- 親子が遊び交流できる屋内施設等の整備
- 子どもの成長段階に応じた相談・情報提供
- 幼児教育等の推進と認定こども園の検討

●再編に当たっての指針●

- ① 公立保育所の統合・認定こども園化の検討
 - ② 子育て関連施設の整備・施設の多機能化
- ↓ ↓ ↓
- ◆小方地区へ集約
 - ◆大竹地区を再編

再 編 案



- | | |
|---|---|
| <h4>保育所の統合・整備のメリット</h4> <ul style="list-style-type: none"> ○管理運営の効率化 ○定員割れ・待機児童解消 ○保護者の就労状況に拠らず受入れ(認定こども園の場合) ○駐車場不足の解消 ○災害対応施設としての再整備 | <h4>子育て支援センター整備のメリット</h4> <ul style="list-style-type: none"> ○行事や相談機能等の充実 ○ワンストップ子育て支援の確立 ○保育施設との連携 ○子育てに優しいまちのPR |
|---|---|

- 施設整備に伴う財政負担の軽減や児童負担軽減等も可能な限り考慮
- 保育需要を適切に見極め、民間を含めて市全体で保育を確保することが重要

第二期子ども・子育て支援事業計画の最終年度(H36)までには再編完了を予定

その他の施設の方向性

- ★木野保育所(休園中) → **廃園を検討**
- ★阿多田児童館 → **保育施設へ転換**
- ★栗谷児童館(休止中) → **施設活用を検討**
- ※さかえ子育て支援センター・松ヶ原こども館は現状維持